

# 同窓会入会式

# 265人が同窓会に入会

令和6年2月29日、卒業式前日に同窓会入会式が母校体育館で行われ、265人が3万人近い同窓会へ新たに入会した。式では同窓生代表として平成13年卒の後藤美菜子さんが進学・就職で母校を巣立つ卒業生の門出を祝い、激励の言葉を述べた。



後藤美菜子さん



勝田明里さん

同窓会の銭谷眞美会長は、「秋田高校は昨年、創立150周年を祝いましたが、これから創立160周年、170周年、そして200周年と歩み続けるでしょう。若い同窓生の皆さんは、同窓生の交流、秋高の教育活動への支援、さらに秋高の歴史、文化、伝統、校風を伝える活動をぜひ継続してください」と歓迎の辞を述べた。

この日、同窓生代表として新会員の入会を祝った後藤美菜子さんは、津田塾大学3年時にミスワールド日本代表に選ばれ世界大会に進出した。卒業後は、秋田テレビに入社、夕方のニュース番組のメインキャスターとして活躍した。現在はフリーアナウンサーとしてナレーションや子どもたちへの絵本の読み聞かせなどの活動を行っている。

銭谷眞美会長

「大学時代は今、後藤さんは、

しかできないことに挑戦してみたい、そして挑戦するなら世界を相手にしたいと思ってミスワールドに応募しました。思いがけず日本代表に選ばれ世界大会に行き、107カ国のミスたちと1カ月共同生活をしました。その経験から感じたのは世界は狭いし、同年代の女の子は世界中どここの国でも変わらないということ。誰かの部屋に集まっては恋愛のことや将来の夢、いろいろなことをよく話をしました。私は自分が田舎が好きだと気付き、秋田に戻って就職しましたが、何か挑戦するなら日本にとどまらないで、どんな世界を相手にしてください」と激励した。

続いて、銭谷会長が新会員代表の勝田明里さんに記念品を贈呈した。勝田さんは、「今年度は新型コロナウイルスによる規制が緩和され、150周年記念行事や式典など歴史的な瞬間に立ち会うことができました」と高校生活振り返り、先輩への敬意を表明し、「この3年間の学びや出会いがこれからの糧となると確信しています」と述べた。

## 令和6年度総会 ～ 6月16日に開催 ～

- 日 時 令和6年6月16日(日)
- 場 所 秋田キャッスルホテル  
秋田市中通1丁目3-5 電話 018-834-1141
- 総 会 午後2時～  
議 事 令和5年度 決算・事業報告  
令和6年度 予算・事業計画  
創立150周年記念事業報告ほか
- 記念講演 午後3時30分～  
講師 江口満氏(昭和57卒)  
前海上保安大学校長
- 演題 『日本を取り巻く海洋安全保障の実態と海上保安庁の活動』  
管区本部長などの要職を経て今春退官されるまでの42年にわたる海上保安官としての現

- 場経験についてお話しいただきます。
- 懇 親 会 午後4時40分～  
※会費 7,000円(懇親会出席の方)  
同封の払込用紙で事前にお振り込みください。
- 申 込  
ご出席の方は、同封のがきに必要事項を記入の上、63円切手を貼り、6月6日までに到着するよう同窓会事務局にお送りください。FAX、Eメールでのお申し込み、同窓会ホームページの「連絡フォーム・行事連絡(総会の出席届け)」もご利用ください。
- 【同窓会事務局】  
F A X 018-832-9588  
Eメール aki-doso@cna.ne.jp



## 新生若菜会総会のお知らせ

- 2020年に新たなスタートを切った秋高女子卒業生の会である「若菜会」のお知らせです。
- 日 時 令和6年7月7日(日)
  - 場 所 ホテルメトロポリタン秋田
  - 講 演 11時～(どなたでも視聴可)  
テーマ 「ホームホスピスの働き」  
～あなたらしくを最期まで～  
講師 中村順子さん(同窓会副会長)
  - 総会・懇親会 12時～  
※詳しくは同封の返信はがきをご覧ください。

## 天上天下

TENJO TENGE

人口減と少子化の潮流は同窓生との付き合い方を変えていくのだろうか。私事で恐縮だが、母校の中学校が昨年3月末で閉校した。小中学校の校舍が併設され、小中連携教育を進めやすい環境が整っていたのに、生徒数の減少はいかんともしがたかった。地域の貴重な財産を失ったのに加え、同窓会を中核とした人との絆も細くなってしまうそうだ▼秋高同窓会だより114号「ZOOM UP」に登場した石井ゆめみさん(平成30卒)は小学生の頃から人口減に強い問題意識を持っていたという奇特な人である。東大で研究テーマに定めて勉学を深め、過疎化が進む地域の展望を見い出そうと社会人になっても追い掛けている▼その姿は実に頼もしく、同窓生として素直に応援したい。中央官庁の事務次官や、東京の御三家といわれる中高一貫校の校長を務めるなど、社会の最前線で重責を担ってきた人たちの学生時代を思い浮かべてみても、地味だが、他人が嫌がることにも率先して汗を流す姿が共通項に挙げられる▼中学の同窓生の後進が絶たれてしまうと、高校、大学の同窓生をより一層大事にしたい、と強く思うようになる。秋高の同窓生が各界で大いに活躍し、社会に貢献する数多くの雄姿に出会いたいものである。